

特定非営利活動法人
日本雲南聯誼協会
れんぎ
【東京本部】〒162-0846 東京都新宿区市谷左内町 21-13 1階
Tel:03-5206-5260 Fax:03-5206-5261
Email:junnan@jyfa.org URL: http://www.jyfa.org/
【雲南支部】中国雲南省昆明市人民東路 289 号集大廣場 2011 室
Tel.+86-871-3311468 Fax.+86-871-3320658
編集・発行人 初鹿野惠蘭
印刷協力 暉日経印刷 暉技術評論社



教育は未来に残す世界遺産です。 子供たちの小さな夢を叶えたい――



NO.31

100万回の手洗いプロジェクト・第1回現地研修 | 白雲小学校衛生授業レポート...2頁

25の小さな夢基金・新規サポーター募集...3頁

50の小学校プロジェクト・追跡調査報告 | 両勒小学校建設経過報告...3頁

協会ニュース | イベント情報 | 連載 他...4頁



“100万回の手洗いプロジェクト”について

雲南省の少数民族地域における、学校を拠点とした健康・環境衛生改善のプロジェクトです。当協会のメイン事業「50の小学校プロジェクト」のフォローアップの一環であり、「50の小学校プロジェクト」支援校のうち、まずは2009年4月から2年間の計画で白雲小学校（第11校目）、日中農科備心小学校（第7校目）、日中農業愛心小学校（第4校目）の3校を中心とした地域の健康・環境衛生改善に取り組みます。衛生に関する意識の形成と衛生管理の習慣化を目指し、具体的には教師・学校保健関係者の健康と衛生に関する実践的な指導能力の向上、小学校の健康・環境衛生に対する対応能力の向上を通して、地域の住民にも衛生に関する知識・態度・行動に关心を持ってもらう一歩となり、現地の子供、先生、親、村人たちに主役となってもらうことで、上意下達による一過性のイベントに終わることのない、持続的な改善の実現を目指します。同時に、手洗い場・給水タンクの設置、共同トイレの改善等、ハーフ面の支援も行います。同プロジェクトは2009年1月に「JICA革の根技術協力事業」に採択され、5月には中国政府（中央科学技術庁）の承認を得ました。

JICA革の根技術協力事業って？

日本のNGO、大学、地方自治体及び公益法人の団体等がこれまでに培ってきた経験や技術を活かして企画した途上国への協力活動を、JICAが支援し共同で実施する事業です。

第2回現地派遣報告

2009年8月6日～9月4日

6月の第1回派遣活動で、プロジェクトマネージャーの薄田栄光氏と事務局2名が現地に入りプロジェクト運営管理体制の整備及び現地パートナーである雲南省衛生弁公室（省衛生局=事務局のこと）との情報共有を確認・日程調整などを行ったのに続いて、今回の派遣では、新たに健康・衛生教育専門家齊藤順子氏、インターン弓削田裕子氏、事務局1名を加えた計6名が現地に赴いた。今回の派遣の主な目的は小学校教師・学校関係者への研修と施設改善計画の確認である。研修は8月17日から20日にかけて昆明で行われ、果樹小学校・藤蘿小学校をはじめとする4校の教師22名が参加した。具体的には保健衛生全般の知識及び手洗いの重要性についての講義と実験、手洗い法の実践、子供たちに楽しく学んでらう方法としてペーパーサート（うちわ型人形劇）とパネルシアター（貼り絵形式の人形劇）の紹介、プロジェクトへの要望確認・意見交換等を行った。初日は緊張気味であった先生方も次第にリラックスし、ペーパーサートの実践には非常に積極的に参加して頂いた。研修後のアンケートでも、全ての参加者が「楽しくためになった」との回答を得ている。余談であるが先生の中には地元から出したことのない方も多い。



衛生授業@白雲小学校レポート

8月31日曜日、白雲村小学校で行われた衛生授業の様子を、健康・衛生教育専門家として派遣に同行した齊藤順子さんがレポートしてくれました。

昆明での研修に参加できなかった白雲小学校の先生たちへの出張研修も無事終了。日曜日の夕方には子供たちが学校に戻り、週末の静けさは嘘の様に、賑やかな声がキヤッキヤッと響きます。学校をうろうろしている見知らぬ私に、皆興味津々の様子。遠巻きにこちらを見ている子もいれば、あなたは先生なの？と果敢に質問てくる子も。うーん。先生じゃないけど、まあ、先生って呼んでくれてもいいや！

翌月曜日、研修に参加した先生方が5年生の2クラスで実際に衛生授業を行いました。1クラス目の授業は午後2時から。私はペーパーサートを子供に作させてほしいと伝えただけでしたが、パネルシアターも使う気満々の様で、先生自らボードを教室へ運びます。教室に運ばれたカラーペンやクレヨン、角用紙等見慣れぬ文房具や、机を向かい合って並べるいつも違うスタイルに、子供たちは一休何が始まるのだろう…と大注目。先生が「文房具には触わってはいけない」と厳しく言ったので手は膝の上だけれども、視線は釘付け。それでも果敢にクレヨンを触ろうとした男

の子の手を、女の子がパシリと叩きます。気づくと他学年の子供たちも集まり、いつの間にか教室の外には人だかりができていました。

さて、いよいよ授業がスタート。

始めに何人かの生徒を当てて、普段どのように手を洗っているか説明してもらいます。その後、ペーパーサートを用いて手洗いの必要性とやり方の説明。子供たちも実践しながら熱心に聞き入っています。さすが教えるプロ、うまいなあとと思いました。次は子供たちがペーパーサート作りに挑戦。グループごとに簡単なストーリー立てにしてもらいます。お題は、衛生に関するものなら何でもOK。ストーリーって言葉でも困っちゃうなあ、となかなか話し合いは進みませんが、こちらが少しヒントを与えると、手が動き始めました！皆、思い思いの色を塗りていきます。

李校長のクラスでも、3時半から衛生授業が始まりました。しかし！校長先生は授業中にかかってきた携帯電話をとると、「用事ができた」と出て行ってしまったのです。先生が授業をしなければ余り意味がないのですが、一向に戻って来ず、結局私たちスタッフだけが進めることに。熱心にペーパーサートを作っていた子供たちも終わった途端に騒ぎ始め、グループごとの発表を始めようにも静かになりません。「静かにー！」と私たちスタッフが何度も叫んでも、効果なし。ふうー、小学校の先生って大変だ。先生たちがホウキや棒で子供たちを叩くそぶりを見せせるのも納得。そうしないと、静かにならないものね。

こうしてなんとか無事に発表に至ったわけですが、日頃グループワークや皆の前の発表に慣れていない子供たちが、よく考え頑張って作ってくれたと思います。

折角の機会ですから、学校全体で衛生意識を盛り上げようと、夜には学年生の生徒たちを招いて、発表会を開催しました。昼間衛生授業を受けた子供たちが、恥ずかしがりながらも大きな声で発表し、先生方も研修で作った作品の発表を行いました。

単純で身近であるがゆえに、軽視されがちな手洗いという衛生行為。しかし、石鹼を使った手洗いを継続することによって、肺炎や下痢などの感染症を予防することができます。また、子供たちが衛生行為を身につけることは、家にいる感染リスクの高い赤ちゃんや老人たちを守ることにもつながります。長年の生活習慣を変えるのは容易なことではありませんが、私たちは、まずは柔軟な小学生の子供たちに衛生習慣を身につけてもらい、そしてそれが地域の人々へと広がっていくことを期待しています。

がんばれ！小さなヘルスプロモーター！

（齊藤順子＝100万回の手洗いプロジェクト健康・衛生教育専門家）

齊藤さんの写真付レポート原文は、当協会オフィシャルブログ「雲南の郵便屋さん」でご覧頂けます。

「雲南の郵便屋さん」<http://blog.canpan.info/yunnan/>



伝統的価値観や経済事情により就学が難しい雲南の女の子たち。そんな彼女たちの小さな夢を、1対1のサポーターとして応援しませんか。貧困地域の少数民族女子を受け入れるために設立された昆明女子中学春暉高校生クラスから、新たに9人の1年生がサポーターを探しています。

※お申し込みのタイミングにより、ご希望通りのご紹介が出来ない場合がございます。寄付金は年額3万円で、原則として高校卒業までの継続ご支援となります。※他に2・3年生のサポーター募集もございます。※詳細は協会までお問い合わせください。

Q1. 民族・出身地	Q2. 家族構成
Q3. 好きな科目	Q4. 趣味
Q5. 将来の夢	

①曹琴 Q1. ナシ族・麗江市寧蒗県 Q2. 父・母・兄 Q3. 音楽と英語 Q4. 歌を歌うこと、読書 Q5. 環境保護を勉強して、美しい故郷を守りたい

②董蓉 Q1. モンゴル族・玉溪市通海県 Q2. 父・母・弟 Q3. 数学 Q4. 読書、バスケットボール Q5. 先生になって、貧しい子供に勉強を教えたい

③姚琼芳 Q1. イ族・楚雄州双柏県 Q2. 父・母・兄 Q3. 国語 Q4. 球技 Q5. 大学へ行き、勉強した知識を故郷の子供たちに伝えたい

④莽德芬 Q1. ペー族・大理州雲龍県 Q2. 祖母・母・兄 Q3. 英語 Q4. 音楽、歌 Q5. 看護の勉強をし、いずれは医者になって、故郷の人々を看病してあげたい

⑤楊紅雲 Q1. リス族・大理州永平 Q2. 祖父母・父・母・姉・妹 Q3. 国語 Q4. 歌、文章を書く事 Q5. 作家になり、自分の歩んできた道を故郷の子供たちに伝えたい

⑥李英 Q1. ラフ族・普洱市瀘滄県 Q2. 祖父母・父・母 Q3. 数学と音楽 Q4. 歌、踊り Q5. 憧れの職業である先生になって、故郷の村に教育を普及させたい

⑦趙靜 Q1. チベット族・迪慶州香格里拉県 Q2. 父・母・妹 Q3. 全ての教科 Q4. 民族舞踊、バスケットボール Q5. 地球温暖化問題の解決に取り組みたい

⑧藤玉蓮 Q1. ブーラン族・西サンパンナ州勐海県 Q2. 孤児 Q3. 国、英、数、美術 Q4. 音楽、卓球 Q5. 大学で勉強し、故郷の環境保護と近代化に貢献したい

⑨劉慧娟 Q1. ヌ一族・怒江州貢山県 Q2. 父・母・弟 Q3. 英語 Q4. 歌、踊り、バスケットボール Q5. 大学で勉強し、故郷の優れた文化を世界に紹介したい

50の 小学校プロジェクト も進行中!

支援校のその後… 追跡調査始まる

当協会は昨年より「50の小学校プロジェクト」支援校の追跡調査を昆明理工大学の陳建明教授に委託しています。協会の支援による小学校校舎の建設が地域に与えた影響を、長期的なかつ多角的視点から分析することが調査の目的です。

これまでに、老木壩小学校（第19校目・2009年3月）、老村小学校（第21校目・同年6月）、日中秋那桶僑心小学校（第6校目）、清平小学校（第18校目）、日中巴底僑心小学校（第16校目・以上3校同年8月）の各地域で訪問調査が行われました。今回はその中から、秋那桶小学校についての報告書を簡単にご紹介します。なお、全20校の調査報告は、来年を目処に日中両国での出版・書籍化を予定しています。

8月17日から20日かけて、筆者は貢山県委統戦部の豊部長の案内により秋那桶小学校を取材した。現地では張校長に手配して頂いて何人かの保護者と学生の話を聞き、およよその状況を把握することができた。雲南省が進めている小学校計画においても、秋那桶小学校は特に合併等の予定がなく、校舎は引き続きその機能を發揮しえるだろう。この学校は子供たちにとって通学に大変便利な場所にあり、寮に住む必要のある者はいないということである。しかしながら、学校の管理は依然として行き届いているとはいはず、特に衛生状況はお世辞にも良いとはいえない。構内や教室はゴミや埃が多く、校名を記した看板も教室内に放置されたままである。教室棟脇の家畜小屋も相変わらずであるが、教室不足は解消されたようだ。衛生状態の改善については、手洗いプロジェクトの対象校拡大が待たれるところである。

こここの子供たちはみな聰明で情に厚く、勉強が好きで、一部の者は既に独龍江郷や昆明の中学校に進学している。またカトリック信仰が盛んで、みな神父にもらった十字架を首にかけている。実は、メディアの抗日戦争に関する報道の影響により、子供たちは幼い頃日本人にあまりいい印象を持っていたいなかったそうだが、近年それも変わってきただとい。勿論、協会の支援活動が子供たちの考えを変える大きなきっかけのひとつとなったことは間違いないだろう。張校長によると、一般的に保護者の教育水準は高くないが、子供が勉強することには肯定的なよう。ただし、「良い学校に行かせる」ということには、必ずしも重きを置いてはいないとのことである。（陳建明 昆明理工大学教授）



秋那桶小の学区を取材中の筆者



両勒小学校建設経過報告

現在、協会では支援第21、22校目の小学校を昆明市尋甸回族彝族自治州にて建設中です。

10月23日、雲南支部スタッフ林輝が、関係者とともに支援第22校目の建設状況を視察しました。当日は、あいにくの霧のために飛行機が2時間遅れるハプニングがありました。我々が文山空港に到着すると、文山州教育局副局長、砚山县人民政府・教育担当の副県長、文山州華僑联合会主席、砚山县人民政府債務弁公室主任やスタッフたち大勢の皆さんが温かく迎えてくれました。昼食をとりながら、建設工事の進捗状況の報告を伺いました。

今回建設する両勒小学校は、学校建設事業の計画中に、付近の5年制小学校1校と分校2校を統合することになりました。現在中国では、より良い教育環境を子どもたちに提供しようという考え方の下学校統合政策が進められていますが、雲南省も例外ではなく、ここ1、2年は急ピッチで統合計画が進められています。突如統合予定の学校数が変更されることも多々あり、今回の件でも、地元政府は受け入れ側の学校の調査や教員の再就職問題など、対応に追われる日々が続いているそうです。

統合が決まったことにより当初予定していた建設地では手狭となつたことで、新たに建設地を選びなおす必要が生じ、その選定と申請手続きにかなりの手間と時間を要しました。ようやく条件に合う土地を確保し、いよいよ工事に取りかかろうとした折、今度は中国華南地域や雲南省を含む西南地域一帯が、異常気象による大雨に見舞われました。海拔の低い文山州でも、6月から9月までの雨季に、連日例年に見られないような大雨が降りました。そのため予定していた7月の着工がかなわず、ようやくグラウンドの整備を開始することができたのは、9月下旬になってからでした。



建設地裏の川も例年にない大増水

昨年の四川大地震で多くの子ども達が校舎の下敷きになってしまった悲しい経験から、中国国家教育部の小学校校舎建設に対する安全基準は現在とても厳しくなっています。土台がしっかりしていないと工事は不合格とみなされます。教育局も建設工事の遅延で焦っていますが、いい加減な工事を進めることはできません。10月中旬、天気の回復を待ち、ようやく基礎工事が始まりました。現在作業員を計画の倍に増やし、急ピッチで作業を進めています。私たちが視察した際も、休日であるにも関わらず、20名ほどの作業員が現場に従事していました。

当初予定していた12月の完成は難くなってしまいましたが、目下來年2月20日の完成を目指し、関係者一丸となって頑張っています。天候不順が無いよう祈るばかりです。

協会ニュース

大宮支部・恒例の中秋晚会

埼玉・上尾市文化センター 9月21日

9月21日火曜日、大宮支部は上尾市国際交流協会のご後援により「中秋晚会」を開催しました。中国の中秋節に合わせて行われてきた文化交流パーティーも今回で3度目、今年もたくさんのご馳走と楽しい催しの数々が、日中合わせて90人もの参加者を歓迎しました。当日は、雲南出身の大宮支部長はじめとした10人の調理担当ボランティアが雲南料理を用意したほか、オカリナや琵琶、二胡の演奏、そして雲南の写真のスライドショーも行われ、例年以上の盛り上がりを見せたとのこと。連休中にもかかわらず参加してくださった皆様、ボランティアの皆様、どうもありがとうございました。

グローバル・フェスタ JAPAN2009

東京・日比谷公園 10月3日・4日



毎年多くのNGOや政府・国際機関が参加する、国内最大級の国際協力イベント「グローバル・フェスタ」。協会の出展は今年で6回になります。当日は少数民族の衣装を着用したスタッフが、協会の活動紹介や雲南省のグッズ販売を行いました。ブースには様々な問題意識を持った方が訪れてくださり、経済発展の目覚ましい中国にあって、未だ取り残されている雲南の現状に关心を寄せて頂きました。今年の出展にあたってご協力頂いたボランティアさんは実に20名以上。皆さん、本当にありがとうございました。

2009年度第3回役員会

東京本部事務局 10月15日

10月15日本曜日、東京本部事務局において初鹿野恵蘭議長により今年度の第3回役員会が召集されました。今回の役員会では、今後予定されている諸活動並びに来年度に迫った協会設立10周年の記念事業についての話し合いが持たれました。協会は、設立10周年記念事業として2010年7月に記念式典を開催する予定であります。まもなく会員の皆様にも詳細をご案内できること思ひますので、どうぞ楽しみにお待ちください。

第3回役員会出席者（順不同）：初鹿野恵蘭理事長（議長）、初鹿野恵蘭理事、大齋修平理事、遠藤功理事、中村有里子理事、唐澤英安理事、村松健児監事、片岡誠顧問、東郷浩顧問、小澤文穂顧問、事務局（七田、筒井、稻田）

女子留学生日本語弁論大会

新宿区トモホール 10月17日

10月17日土曜日、東京都新宿区で行われた「女子留学生日本語弁論大会」東京中央大会に、当協会の初鹿野理事長が審査員として参加致しました。同大会は、日本で学ぶ女子留学生を支援する国連NGO世界平和女性連合が主催する支援と交流の輪を広げる為に1997年より開催しています。13回目となる今年の東京中央大会では、7人の女子留学生が弁論を競いました。関係者によると参加者の水準は年々上がっており、そのスピーチのレベルの高さには、初鹿野理事長もただただ目を見張るばかりであったとのことです。今回その超高水準の接戦を制したのは、早稲田大学修士課程1年の中国人留学生、熊聰さん。今後熊聰さんは、全国大会で各地方大会の優勝者と競うことになります。今度は日本一を目指して是非頑張ってくださいね！

いつも会報をご覧頂いてありがとうございます。編集部にもフレッシュな人材が入ったところで、読者参加型投稿コーナーが満を持しての登場です！タイトルの「鏡頭」は中国語でレンズのこと。皆様がレンズ越しに見てきたさまざまな「世界」を本紙で紹介してみませんか？写真は雲南や中国に関わるものでなくても構いません。皆様の自慢の1枚にコメントを添えて、是非編集部宛にお寄せください。皆様の投稿、心よりお待ちしております！初回は初鹿野理事長の1枚。和やかな雰囲気の中に歴然とした社会格差が見え隠れしています。

【宛先】データ：yunnan@jyfa.org
現像された物：〒162-0846 新宿区市谷左内町21-13
1階 日本雲南联谊協会「会報・投稿コーナー」係

※原則として写真のご返送は致しかねますことを了承ください。

新企画 鏡頭裏的世界 —レンズの中の世界—



極普通のデジタルカメラ。しかし雲南山奥の少数民族にとってはじめて見るもの。自分達の顔を映され。驚きを隠しきれない（No.1 初鹿野恵蘭・2009年雲南省臨滬）

雲南を彩る 25の星たち



ワ族（佤族）は雲南省南部をミャンマー及びラオスにまたがる住む少數民族で、人口は約70万、中国国内には35半分で35万人が住んでいます。シノボル族と同じモンクメール語系に属す独自の言葉と文字を持ち、皮膚もシノボル族より黒い茶褐色で頭で包み、黒いマスクとズボンで足を隠します。米飯や米飯を混じて煮て食べます。お茶を好み、ビショウを嗜む習慣もあります。伝統的な服装は黒いベースに黒い模様で、男性は黒いターバンで頭で包み、黒いマスクとズボンで足を隠します。女性の服装は色や柄によって異なりますが、長いスカートはアーチ、銀製の飾りで身に付けるのが特徴です。ワ族は農耕民族で稼働を重視しており、収穫の季節に合わせて行う「新米祭」は、生活中で最も重要な祭りと言えます。新米祭は、一家の主人は早く起きて、1ヵ月前から準備を始め、黒いマスクとズボンで足を隠す事で神に祈ります。新米祭は必ずお祭りで祝います。人々は、新米祭で過ごす事やあることを知ると、お祝いを持って駆けつけます。ワ族は竹文化を有名で、伝統的な象生竹を竹製の高圧式住家などです。（雲南文部）

●お題●
市町村合併等による住所や郵便番号の変更、あるいは送付物の宛て先表記に誤り等がございましたら、大変お手数ですが協会までご一報頂ければ幸いです。



血行不良は万病のもと！

- 健康維持したい
 - 免疫力などを高めたい
 - 新生活や忙しい毎日でも
 - 美容が気になる
 - 体力増強したい
- そんな方にお勧めです。

ご注文・電話 042-659-2997



編集後記

10月半ばから編集を始めた今号ですが、入稿を迎える頃にはすっかり寒くなっていました。皆様も風邪などひかれていまい。皆様も風邪などひかれていまい。各イベントについてはホームページにも詳しいレポートを掲載しておりますので、是非ご覧になってみてください。新オーナーへの投稿もお待ちしております！

※お詫び※ 11月30日(火)より予定しておりました第21・22校開校式の旅は、異常気象の影響による工事遅延の為一旦延期とさせて頂きます。会員の皆様にはご迷惑をおかけ致しまして誠に申し訳御座いません。今後の予定につきましては、詳細が決定次第改めてご案内させて頂きます。また、現地の具体的な状況については、本誌第3面掲載の雲南支部スタッフによる報告を合わせてご参照頂ければ幸いです。